

委託事業実施内容報告書

平成22年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 会津若松市国際交流協会

1 事業の趣旨・目的

入門、初級、中級の日本語学習者を主な対象として、教科書で学んだ日本語を実践的に活用する場面を提供する。また、会津における日常生活で必要となる語彙を積極的に習得する機会を設け、家族や地域の人々とのコミュニケーションの円滑化を図る。

2 運営委員会の開催について

【概要】

| 開催日時 | 開催場所 | 出席者 | 議題 | 会議の概要 |
|--------|-----------------|--------------------------------------|--------------------------------|--|
| 5月25日 | 会津若松市 国際交流協会 | 齋藤直美 大堀恭裕 小原孝子 小林真司 馬 嘉利 | 事業内容の検討 | ■開催内容について ・各月ごとのテーマの決定について ・時間配分について ・語彙シートの作成について ・運営委員会の開催月について |
| 11月16日 | 会津若松市 国際交流協会 | 齋藤直美 大堀恭裕 小原孝子 小林真司 馬 嘉利 | 事業進行状況の確認 および今後の改善点 について | ■進行状況について ・国別出席人数について ・語彙シートの内容について ■参加者の反応、今後の改善点について ・おしゃべりの促し方について ・振返りの必要性について ・学習者のニーズ、満足度について ・語彙シートの活用について ・日本語教室、子ども日本語ひろばとの連携について ・グループ分けの方法につ |

| | | | | |
|-------|---------------------|--------------------------------------|------------------------------|--|
| | | | | いて ■職場見学バスツアーに ついて ・日時、訪問先、目的、参加 人数について |
| 2月15日 | 会津若松市 国際交流協 会 | 齋藤直美 大堀恭裕 小原孝子 小林真司 馬 嘉利 | 事業内容の反省およ び次年度の活動につ いて | ■今年度の振り返りにつ いて ・アンケートの実施につ いて ・参加者の満足度、ニーズ について ■次年度の活動、改善点 について ・グループ分けにつ いて ・テーマにつ いて ・語彙シートの活用につ いて ・広報につ いて ・開催場所につ いて ・時間配分につ いて |

【写真】



3 日本語教室の開催について

① 日本語教室の名称

会津日本語サロン

② 開催場所

レオクラブガーデンスクエア 5 階会議室

③ 学習目標

- ・ 教科書で学んだ日本語を実践的に活用することができる。
- ・ 会津における日常生活で必要となる語彙を積極的に習得し、家族や地域の人々とすすんでコミュニケーションを図ることができる。

④ 使用した教材・リソース

- ・ 日本語語彙シート（当協会作成）
- ・ 季節で学ぶ日本語（東京国際大学附属日本語学校／アルク）
- ・ 楽しく読める日本のくらし 12ヶ月（国際日本語研究所／アプリコット）
- ・ 子どものマナー図鑑1～5（峯村良子／借成社）

⑤ 受講者の募集方法

- ・ 当協会ホームページ
- ・ 当協会情報誌 FINE・窓・JTF

⑥ 受講者の総数 39 人

（出身・国籍別内訳 中国 24人、韓国 3人、ブラジル 1人、スリランカ 1人、ベトナム 1人、チリ 1人、ロシア 2人、ブルガリア 1人、アメリカ 2人、ドイツ 2人、チュニジア 1人）

⑦ 開催時間数(回数) 64 時間 (全 30 回)

日本語教室の具体的内容

| 回 | 開催日時 | 時間数 | 参加人数 | 国籍・母語(人) | 教授者・補助者人数 | 内容 |
|---|-------|-----|------|--|----------------|------------------------------|
| 1 | 6月1日 | 2時間 | 9人 | 中国・中国語(5人) 韓国・韓国語(1人) ブラジル・ポルトガル語(1人) スリランカ・シンハラ語(1人) ベトナム・ベトナム語(1人) | 教授者1人 補助者3人 | 「災害と防災のことば」① |
| 2 | 6月8日 | 2時間 | 11人 | 中国・中国語(7人) 韓国・韓国語(1人) ブラジル・ポルトガル語(1人) スリランカ・シンハラ語(1人) ベトナム・ベトナム語(1人) | 教授者1人 補助者3人 | 「災害と防災のことば」② 梅雨について |
| 3 | 6月15日 | 2時間 | 8人 | 中国・中国語(5人) 韓国・韓国語(1人) ブラジル・ポルトガル語(1人) スリランカ・シンハラ語(1人) | 教授者1人 補助者3人 | 「災害と防災のことば」③ |
| 4 | 6月22日 | 2時間 | 9人 | 中国・中国語(5人) 韓国・韓国語(1人) ブラジル・ポルトガル語(1人) スリランカ・シンハラ語(1人) ベトナム・ベトナム語(1人) | 教授者1人 補助者3人 | 「災害と防災のことば」 まとめ |
| 5 | 6月29日 | 2時間 | 8人 | 中国・中国語(4人) ブラジル・ポルトガル語(1人) スリランカ・シンハラ語(1人) ベトナム・ベトナム語(1人) ロシア・ロシア語(1人) | 教授者1人 補助者3人 | 「近所付き合いとごみ分別のことば」① |
| 6 | 7月6日 | 2時間 | 10人 | 中国・中国語(5人) 韓国・韓国語(1人) ブラジル・ポルトガル語(1人) | 教授者1人 補助者3人 | 「近所付き合いとごみ分別のことば」② 七夕について |

| | | | | | | |
|----|-------|-----|-----|---|----------------|----------------------------|
| | | | | ベトナム・ベトナム語 (1人) ロシア・ロシア語 (1人) ブルガリア・ブルガリア語 (1人) | | |
| 7 | 7月13日 | 2時間 | 9人 | 中国・中国語 (4人) 韓国・韓国語 (1人) ブラジル・ポルトガル語 (1人) スリ Lanka・シハラ語 (1人) ベトナム・ベトナム語 (1人) ロシア・ロシア語 (1人) | 教授者1人 補助者3人 | 「近所付き合いとごみ分別のことば」③ |
| 8 | 7月20日 | 2時間 | 14人 | 中国・中国語 (8人) ブラジル・ポルトガル語 (1人) スリ Lanka・シハラ語 (1人) ベトナム・ベトナム語 (1人) ロシア・ロシア語 (1人) アメリカ・英語 (2人) | 教授者1人 補助者3人 | 「近所付き合いとごみ分別のことば」 まとめ |
| 9 | 7月27日 | 2時間 | 10人 | 中国・中国語 (3人) 韓国・韓国語 (1人) ブラジル・ポルトガル語 (1人) ベトナム・ベトナム語 (1人) ロシア・ロシア語 (1人) ブルガリア・ブルガリア語 (1人) アメリカ・英語 (2人) | 教授者1人 補助者3人 | 「街と交通のことば」① |
| 10 | 8月3日 | 2時間 | 6人 | 中国・中国語 (4人) 韓国・韓国語 (1人) ベトナム・ベトナム語 (1人) | 教授者1人 補助者3人 | 「街と交通のことば」② 夏祭り・盆踊りについて |
| 11 | 8月24日 | 2時間 | 9人 | 中国・中国語 (6人) 韓国・韓国語 (1人) ブラジル・ポルトガル語 (1人) アメリカ・英語 (1人) | 教授者1人 補助者3人 | 「街と交通のことば」③ |

| | | | | | | |
|----|--------|-----|-----|--|----------------|-------------------------|
| 12 | 8月31日 | 2時間 | 8人 | 中国・中国語(6人) 韓国・韓国語(1人) ブラジル・ポルトガル語(1人) | 教授者1人 補助者3人 | 「街と交通のことば」まとめ |
| 13 | 9月7日 | 2時間 | 9人 | 中国・中国語(5人) 韓国・韓国語(1人) ブラジル・ポルトガル語(1人) アメリカ・英語(2人) | 教授者1人 補助者3人 | 「病院で使うことば」① |
| 14 | 9月14日 | 2時間 | 8人 | 中国・中国語(5人) 韓国・韓国語(1人) ブラジル・ポルトガル語(1人) アメリカ・英語(1人) | 教授者1人 補助者3人 | 「病院で使うことば」② 十五夜について |
| 15 | 9月21日 | 2時間 | 10人 | 中国・中国語(6人) 韓国・韓国語(1人) ブラジル・ポルトガル語(1人) アメリカ・英語(2人) | 教授者1人 補助者3人 | 「病院で使うことば」③ |
| 16 | 9月28日 | 2時間 | 9人 | 中国・中国語(6人) 韓国・韓国語(1人) ブラジル・ポルトガル語(1人) アメリカ・英語(1人) | 教授者1人 補助者3人 | 「病院で使うことば」まとめ |
| 17 | 10月5日 | 2時間 | 7人 | 中国・中国語(4人) ブラジル・ポルトガル語(1人) アメリカ・英語(2人) | 教授者1人 補助者3人 | 「衣類と買い物のことば」① 紅葉について |
| 18 | 10月12日 | 2時間 | 12人 | 中国・中国語(9人) 韓国・韓国語(1人) ブラジル・ポルトガル語(1人) アメリカ・英語(1人) | 教授者1人 補助者3人 | 「衣類と買い物のことば」② |
| 19 | 10月19日 | 2時間 | 12人 | 中国・中国語(11人) ブラジル・ポルトガル語(1人) | 教授者1人 補助者3人 | 「衣類と買い物のことば」③ |

| | | | | | | |
|----|--------|-----|-----|--|----------------|--|
| 20 | 10月26日 | 2時間 | 10人 | 中国・中国語(5人) 韓国・韓国語(1人) ブラジル・ポルトガル語(1人) ドイツ・ドイツ語(2人) | 教授者1人 補助者3人 | 「衣類と買い物のことば」まとめ |
| 21 | 11月2日 | 2時間 | 9人 | 中国・中国語(8人) アメリカ・英語(1人) | 教授者1人 補助者3人 | 「食べ物と料理のことば」① |
| 22 | 11月9日 | 6時間 | 7人 | 中国・中国語(9人) マレーシア・マレー語(1人) ブラジル・ポルトガル語(1人) 刊・スペイン語(1人) ウクライナ・ウクライナ語(2人) ドイツ・ドイツ語(1人) | 教授者1人 補助者3人 | 職場見学バスツアー ・竹田総合病院 ・御宿 東鳳 ・ヨークベニマル |
| 23 | 11月16日 | 2時間 | 16人 | 中国・中国語(9人) 韓国・韓国語(1人) ブラジル・ポルトガル語(1人) アメリカ・英語(1人) 刊・スペイン語(1人) イギリス・英語(1人) ドイツ・ドイツ語(2人) | 教授者1人 補助者3人 | 「食べ物と料理のことば」② |
| 24 | 11月30日 | 2時間 | 16人 | 中国・中国語(9人) 韓国・韓国語(1人) ブラジル・ポルトガル語(1人) アメリカ・英語(2人) 刊・スペイン語(1人) ドイツ・ドイツ語(2人) | 教授者1人 補助者3人 | 「食べ物と料理のことば」③、まとめ |
| 25 | 12月7日 | 2時間 | 9人 | 中国・中国語(6人) 韓国・韓国語(2人) ドイツ・ドイツ語(2人) | 教授者1人 補助者3人 | 「よく耳にする会津の方言」① |
| 26 | 12月14日 | 2時間 | 9人 | 中国・中国語(4人) 韓国・韓国語(2人) ブラジル・ポルトガル語(1人) | 教授者1人 補助者3人 | 「よく耳にする会津の方言」②、③ |

| | | | | | | |
|----|--------|-----|-----|--|----------------|------------------------------------|
| | | | | ドイツ・ドイツ語 (2人) | | |
| 27 | 12月21日 | 2時間 | 16人 | 中国・中国語 (10人) 韓国・韓国語 (2人) ブラジル・ポルトガル語 (1人) 刊・スペイン語 (1人) ドイツ・ドイツ語 (2人) | 教授者1人 補助者3人 | 「よく耳にする会津の方言」 まとめ 歳末・大掃除について |
| 28 | 1月11日 | 2時間 | 11人 | 中国・中国語 (3人) 韓国・韓国語 (3人) ブラジル・ポルトガル語 (1人) アメリカ・英語 (1人) ドイツ・ドイツ語 (2人) ロシア・ロシア語 (1人) | 教授者1人 補助者3人 | 「福島県と会津に関することば」① 新春・お正月について |
| 29 | 1月18日 | 2時間 | 13人 | 中国・中国語 (7人) 韓国・韓国語 (2人) ブラジル・ポルトガル語 (1人) ドイツ・ドイツ語 (2人) ロシア・ロシア語 (1人) | 教授者1人 補助者3人 | 「福島県と会津に関することば」②、③ |
| 30 | 1月25日 | 2時間 | 15人 | 中国・中国語 (9人) 韓国・韓国語 (1人) ブラジル・ポルトガル語 (1人) ドイツ・ドイツ語 (2人) ロシア・ロシア語 (1人) 刊・スペイン語 (1人) | 教授者1人 補助者3人 | 「福島県と会津に関することば」まとめ 節分について |

⑧ 特徴的な授業風景

●7月6日「七夕」を学ぼう

・「七夕祭りととはどんな日ですか」を中・韓・英に翻訳し、配布する。内容を説明した後、学習者の出身国に七夕があるか、似た風習があるかを尋ね、あれば行事の内容や日本との違いを説明してもらう。

・教授者が笹を持参。教授者、学習者が短冊を作成する。願い事の書き方、願い事を書く時に使う言葉について学び、皆の願いが込められた短冊が完成。最後に七夕の歌を皆で練習し、合唱した。

●9月28日「病院で使うことば」まとめ

- ・教授者が事前に市内の病院から入手してきた問診票を学習者に提示し、「病院で使うことば」のシートをもとに、問診票記入時に必要となる語彙、書き方の指導をする。
- ・子どもがいる学習者は小児科グループ、その他の学習者は内科グループに分かれ患者役になり、教授者が白衣を着て医者役となる。実際に受診する場面を再現し、診察を受ける際に使う言葉、自分の症状の説明の仕方、薬の説明についてなどを学んだ。



⑩ 活用した日系人等(日本語を母語としない)の名簿

| 氏名 | 母語(国籍) | 来日年(日)数 | 参加回数 | 当該教室での役割 |
|---------|---------|---------|------|----------|
| 金 賢淑 | 韓国語(韓国) | 18年 | 8回 | 通訳、翻訳 |
| 房 徳良 | 中国語(中国) | 20年 | 8回 | 通訳、翻訳 |
| 手代木 トロイ | 英語(カナダ) | 20年 | 8回 | 通訳、翻訳 |

⑪ 支援者の名簿(⑩以外)

| 氏名 | 所属 | 専門分野及び日本語教育に関する資格 | 参加回数 | 当該教室での役割 |
|----|----|-------------------|------|----------|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

毎月ごとにテーマを提示し、そのテーマに沿った学習と語彙シートの配布は、非常に好評だった。日本人の配偶者として会津に住む外国人は、農村地域で高齢者と同居しているケースが多いが、彼女たちからは、周りの人々が話す方言が理解できなく困っているという声が多く聞かれていた。しかし、「よく耳にする会津の方言」を学んだことで、家族や近所の人々が言っていることが少しわかるようになり、会話が楽しくなってきたという声が上がった。その他のテーマに関しても、会津で生活する上で必要な語彙を積極的に学ぶことができる場となり、今までわからなかった言葉や会話の理解と共に、家族や地域でのコミュニケーション力の向上に大いに役立ったようだ。

② 学習者の習得状況

これまで週 1 回実施していた「日本語会話教室」に加えて受講する学習者も多く、教科書(「みんなの日本語」など)で学習した内容を実践の場で生かすことができ、定着を図ることができた。回を追うごとに参加者が増加したのも、学習者の口コミによる広報の広がりがあった。

③ 日本語教室設置運営の効果、成果

おしゃべりの場ということもあり、気軽に参加できる学習の場となったようで、これまで当協会を訪れたことがなかった外国人の参加が度々見られた。この教室への参加が新たな人々との出会いや関わりを得る機会となり、生活の場を広げるきっかけとなったようだ。また、新春・お正月についての学習でおせち料理のレシピを学んだ際、家庭でその料理をふるまった時の話をサロンの中でうれしそうに報告する姿が見られ、この教室が様々な形で家族や地域の人々との相互理解を深める一助となっていることが見受けられた。

④ 地域の関係者との連携による効果、成果 等

当協会は、行政や他団体から観光案内の通訳やパンフレットの翻訳依頼を受けており、当協会に登録している外国人を紹介しているが、この教室開設は新たな人材発掘の機会となっただけではなく、これまで登録していた外国人の会津に対する理解向上と語彙の広がりにつなげることができた。教室で学習した内容から通訳や翻訳の幅も広がり、地域のニーズと、自分の日本語を磨きたいと思う外国人をつなぐことができ、また、多くの活躍の場を外国人へ提供することができた。

11 月に開催した職場見学バスツアーでは、外国人を雇用している企業を数社訪問し、実際に仕事をしている現場を見学したが、参加者は訪問企業に対し様々な質問を投げかけ、就労に対する高い意欲が感じられた。日本語力にまだまだ不安のある学習者も、日本語使用の少ない職種(ホテル内清掃やスーパーのバックヤードなど)を見学したことにより、自分も働けるかもしれないと可能性を感じ、日本語学習のモチベーションが上がったようだった。また、このバスツアーは外国人の雇用に対し前向きな企業と、積極的に就労を考える外国人との出会いの場となり、今回の機会が今後の雇用拡大に繋がることを、大いに期

待できる。

⑤ 改善点、今後の課題について(具体的に記述する。)

a. 現状

小グループに分かれた学習スタイルで授業を進めたが、グループ分けの際、入門学習者がある程度日本語を話す学習者と同じグループに入ってしまうと、入門者に対し語彙の説明や文型の指導に内容が偏り、その部分を学習済の参加者と学習進度の差が見られることがあった。また、参加者の背景は日本人の配偶者や就労者、留学生など様々であり、提示されるテーマに対し、興味関心が分かれる場合があった。

b. 今後の課題

教授者や支援者を増やし、グループ数を多くすることが望まれる。参加者の背景やニーズ、レベルに合ったグループ分けをし、より実践的な指導ができるよう見直していきたい。また、広報に関し、既存にある「日本語会話教室」とイメージが重複してしまい、教科書をもとに文型と語彙を学習する場であると思われがちだったようだ。この教室が会話を中心とした「おしゃべりの場」であることの周知に力を入れ、日本語会話教室の趣旨との違いを明確にし、学習者の必要性やニーズによって学習の場が選択できることを知ってもらえるよう、チラシの内容、配布方法に力を入れていきたい。

c. 今後の活動予定、展望

就業者や学習意欲の高い学習者から、夜のクラスの開設を希望する声が多く聞かれた。昼のクラスに合わせ夜のクラスを併設し、より多くの外国人が参加できる学習の場としていきたい。また、昼・夜、各クラスへコーディネーターを配置し、スムーズな構成のもと、テーマを有効活用しながら参加者同士の対話活動が円滑に進むよう、まとめていきたいと思う。今後は、参加者の細かなニーズ把握を母語による聞き取り調査で実施しながら、様々な立場から参加する参加者のグループ分けやテーマの提示をしっかりと考慮し、より実践的な日本語学習の場となるよう、取り組んでいきたい。

③ その他参考資料

参加者の声

- ・たくさん日本語を勉強することができた。
- ・日本語以外に生活習慣や行事、特に会津の観光地や方言を勉強することができ、とてもよかった。
- ・友達を作ることができた。
- ・気軽に参加できることがうれしかった。
- ・同じグループにレベルの違う学習者がいるとペースに差が出てしまうため、もう少し細かいグループ分けをしてほしい。

※写真は、肖像権等に配慮し、差し支えないものを添付すること。